

見方・考え方を働かせている具体的な子供の姿（思考表現例）

①見方・考え方【算数】

◎事象を
数量や図形、
図形やそれらの関係など
に着目して捉え、
根拠を基に筋道を立てて考え、
統合的・発展的に考えること

【社会】

◎社会的事象を
位置や空間的な広がり
時期や時間の経過
事象や人々の相互関係
に着目して捉え、比較・分類したり、総合したり、
地域の人々や国民の生活と関連付けたりすること

② 見方・考え方を働かせている姿【算数】

A: 問いを見付ける(問いを抱く)。
B: 考えを式や図等に表わしたり読んだりする。
C: 筋道立てて考える。
D: 根拠を明らかにして考えたり、説明したりする。
E: 関連付けて、発展的一統的に考える。
F: 「簡潔性・明瞭性・的確性(はかせどん)」を視点に考える。
G: 単純化して考える。
H: 多面的・批判的に考察する。

【社会】

A: 問いを見付ける(問いを抱く)。
B: 資料等を用いて作品などにまとめたり、図表などに表したりする。
C: 社会的事象について調べ、考えたり、選択・判断したりする。
D: 根拠を明確にして、理解したことや自分の考えなどを論理的に説明する。
E: 総合したり、関連付けたりして考える
F: 「簡潔性・明瞭性・的確性」を視点に考える。
G: 習得した知識や技能を活用して考える。
H: 複数の立場や意見を踏まえて多角的に考える

③ 見方・考え方を働かせている姿【算数】

算 数	社 会
A: 問いを見付ける(問いを抱く)。 ・ どちらの方が多い(大きい、長い)のかな。 ・ これまで学習した方法でできるかな。 ・ わり算でできるのかな。	A: 問いを見付ける(問いを抱く)。 ・ どのような場所にあるのかな。 ・ どのように変わってきたのかな。 ・ どのようなつながりがあるのかな。
B: 考えを式や図等に表わしたり、読んだりする。 ・ 数・式・図・表・グラフに表わすとどうなるのかな。 ・ ○○君の図は、△△さんの式と同じところがあるな。	B: 資料や写真から読み取ったり、読み取った情報を作品などにまとめたり図表に表わしたりする ・ グラフや写真からどんなことが分かるかな。 ・ 図・表・グラフに表わすとどうなるのかな。
C: 筋道立てて考える。 ・ まず、一のくらいから計算して、次に…、そして、だから答えは○○になるぞ。	C: 社会的事象について調べ、考えたり、選択・判断したいする ・ どのように続けていくことがよいのだろう。⇒分かった。○○は、～ということだ。 ・ 共に生きていく上で何が大切だろう。○○と～では、どちらだろう。
D: 根拠を明らかにして考えたり、説明したりする。 ・ 答えは～となったよ。 その理由は、この計算は○○となることから、△△といえるからだよ。	D: 根拠を明確にして理解したことや自分の考えなどを論理的に説明する。 ・ ～が大切だと考えたよ。私の考えは、○○だよ。(主張) その理由は、○○という事実から△△と考えたからだよ。
E: 関連付けて、発展的一統的に考える。 ・ どの方法にも○○というきまりがいえるよ。 ・ もしも(例えば)～だったら ・ だったら、～の場合でも○○できるのかな。 ・ ○○の時に学習した時と同じように考えると～。	E: 総合したり、関連付けたいして考える。 ・ ○○と△△は～が同じだから。○○と△△から、～ということが分かる。 ・ もしも(例えば)～だったら、どうなるだろう。 ・ だったら、～の場合でも○○なのかな。 ・ ○○の時に学習した視点で考えると～だと思うな。
F: 「簡潔性・明瞭性・的確性(はかせどん)」を視点に考える。 ・ 簡単にできるのは…。早く計算できる方法は…。 どんな時でもできるのは…。分かりやすくいうと…。	F: 「簡潔性・明瞭性・的確性」を視点に考える。 ・ ～や～は、簡単に言うと○○だ。(と言える。) ・ 分かりやすくいうと○○だ。(と言える。)
G: 単純化して考える。 ・ もっと、簡単な数で考えるとどうなるかな。	G: 単純化して考える。 ・ もっと、視点を絞って考えるとどうなるかな。 ・ ○○の場合でも、同様に言える。
H: 多面的・批判的に考察する。 ・ 別な方法で説明し(考え)てみよう。 ・ この方法は正しいのかな。ほかの方法でも試してみよう。 ・ 考えた方法が別な問題でも使えるのかな。	H: 複数の立場や意見を踏まえて多角的に考える。 ・ 別の人の立場になって考えてみよう。 ・ ここに、こんな施設が多いのは○○だからかな。 ・ それぞれの立場で考えると～、○○ということが分かる。